

2015年3月期 決算説明会

Jトラスト株式会社

2015年5月26日

1. 2015年3月期 連結決算の概要

取締役 経理財務部長 常陸 泰司

2. 中期経営計画の骨子と今後の戦略

代表取締役社長 藤澤 信義

3. セグメント事業ごとの戦略

✓ 国内金融事業 Jトラスト取締役 千葉 信育
✓ 韓国金融事業

✓ 東南アジア金融事業 Jトラストアジア取締役
✓ 非金融事業 浅野 樹美

4. 質疑応答

■免責事項

- 本資料に記載された将来情報などは資料作成時点での当社の認識、意見、判断又は予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。
- また、説明会および本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
- 本資料の数字は億円未満を切捨てて表示しており、合計数字に差異が生じる場合があります。

当期の主な取組み

当期の主な取り組みについて

▶ 韓国の消費者金融3社の事業を親愛貯蓄銀行へ譲渡

- ・ 親愛貯蓄銀行は貸付事業に特化
- ・ ケージェイアイ貸付金融/ハイキャピタル貸付/ネオラインクレジット貸付は不良債権の回収に特化

4月 5月 6月 7月 **8月** 9月 10月 **11月** 12月 1月 2月 3月

▶ インドネシアの商業銀行 ムティアラ銀行の株式を取得

- ・ 金融当局の承認後「バンク・Jトラスト・インドネシア」へ社名変更
- ・ P/Lは2016年3月期より連結対象

当期の主な取り組みについて

- **KCカードのカード事業をソフトバンクグループへ売却**
 - ・ 同月「Jトラストカード」へ社名変更

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 **1**月 2月 **3**月

- **韓国スタンダードチャータード貯蓄銀行の株式を取得**
 - ・ 同月「JT貯蓄銀行」へ社名変更

- **韓国スタンダードチャータードキャピタルの株式を取得**
 - ・ 同月「JTキャピタル」へ社名変更

当期の主な取り組みについて

➤ Group Lease PCLの転換社債引き受け契約を締結

- ・ タイ証券取引所一部上場会社（ティッカーコード「GL」）
- ・ ムティアラによるファイナンス提供や販売金融事業の展開等、業務提携を通じて互いの事業シナジーを追求

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 **3月**

➤ 日本保証において希望退職者の募集を実施

- ・ 筋肉質な経営体質への転換を図ることを目的に実施
- ・ 計320名と大幅な人員削減を実施

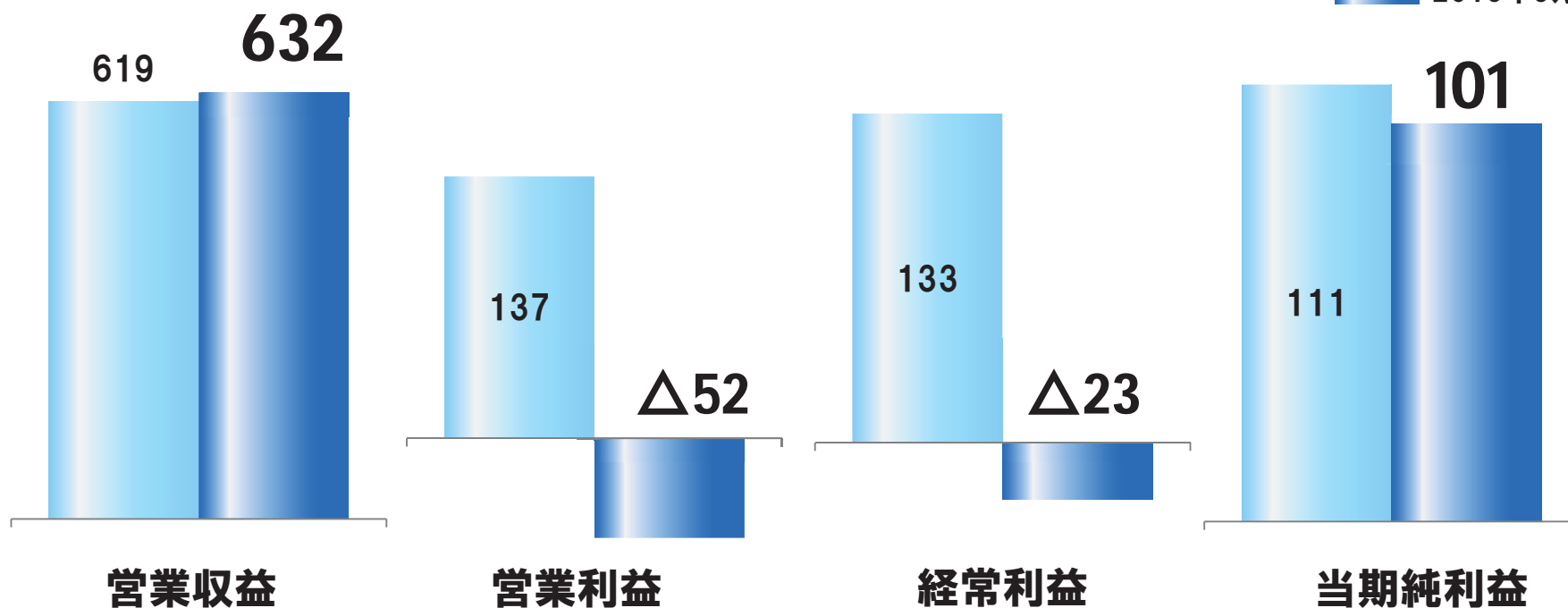
2015年3月期 連結決算概要

Point

- 営業収益は632億円と過去最高値を更新
- 営業損失 52億円、経常損失 23億円、当期純利益101億円
 - ✓ 親愛貯蓄銀行の一時的費用、SC貯蓄銀行/SCキャピタル取得の遅れが利益の押し下げ要因に

単位：億円

2014年3月期
2015年3月期

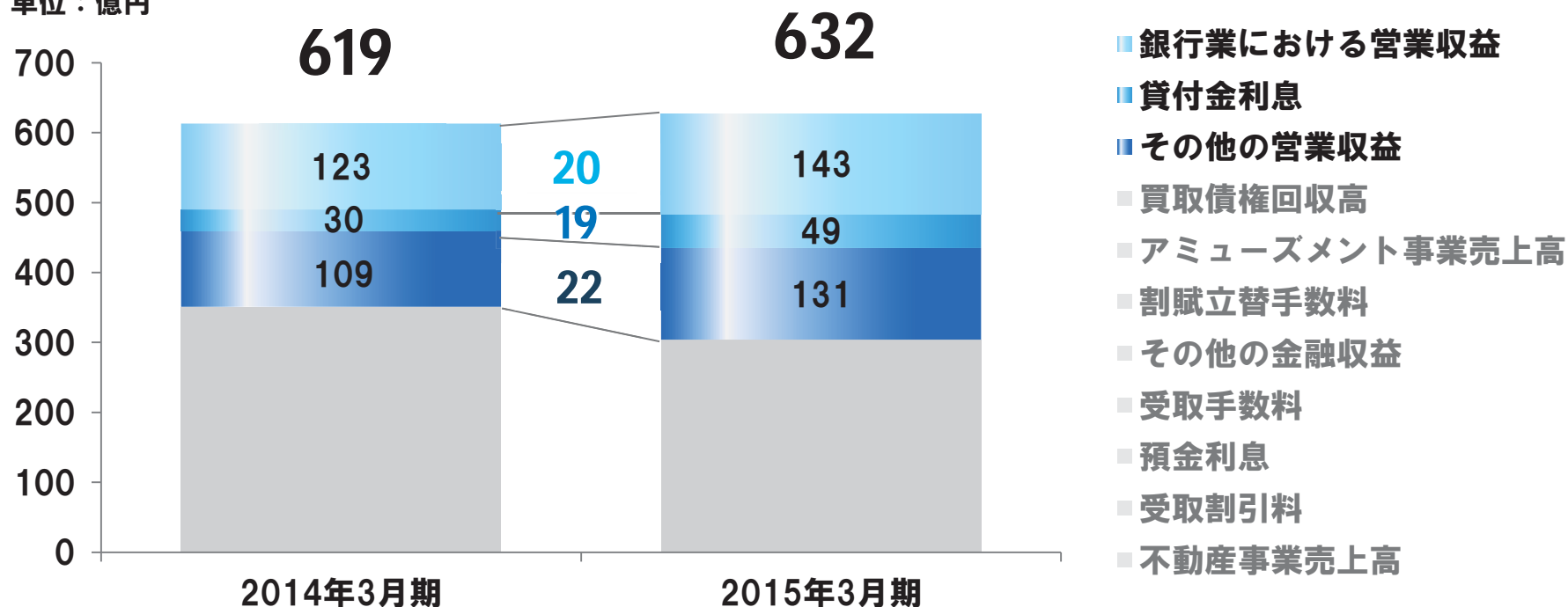


Point

➤ 営業収益は632億円と13億円の増収

- ✓ 銀行業における営業収益：親愛貯蓄銀行の貸付事業譲受による貸付債権増加および新規貸付の増加により20億円増加
- ✓ 貸付金利息：ケージェイアイおよびハイキャピタルの連結により19億円増加
- ✓ その他の営業収益：LCD Global Investmentの株式売却等（11億円）や、新子会社（日本介護福祉グループ等）の連結により22億円増加

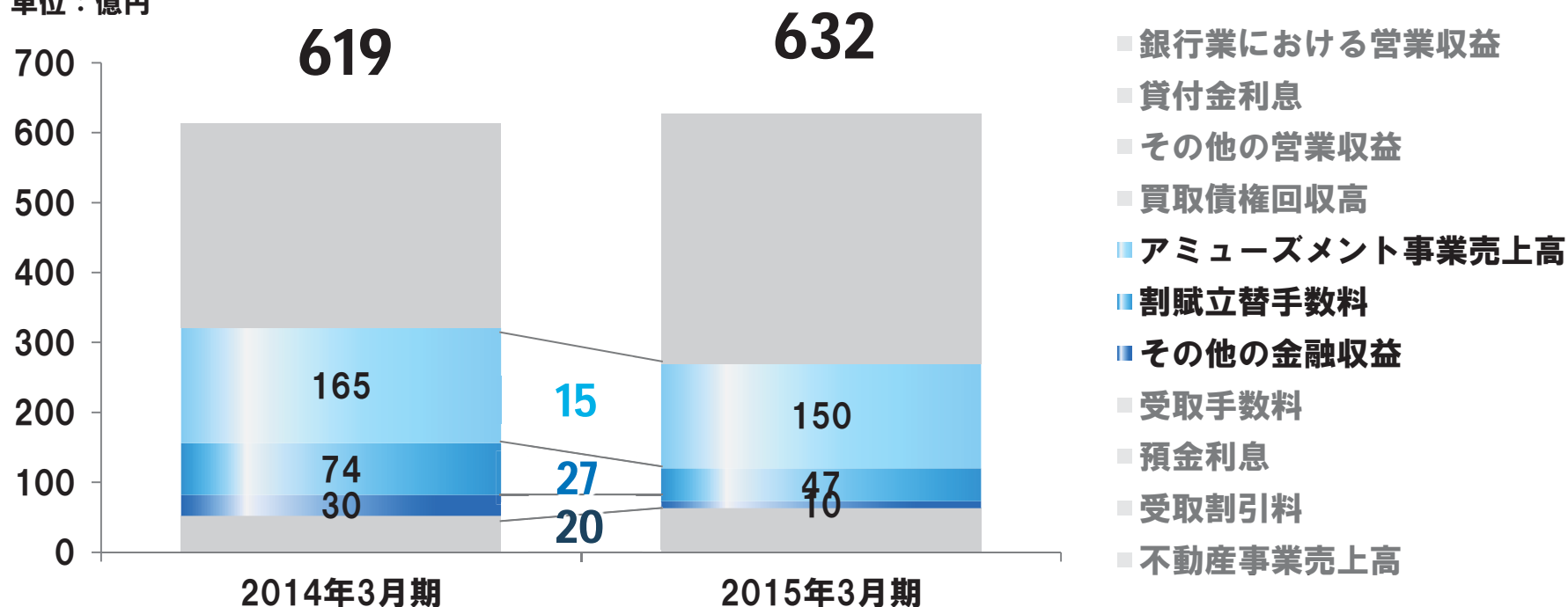
単位：億円



Point

- **営業収益は632億円と13億円の増収**
 - ✓ 割賦立替手数料：KCブランドの譲渡により27億円減少
 - ✓ アミューズメント事業売上高：消費税増税による個人消費減退の影響により15億円減少
 - ✓ その他の金融収益：日本保証の残高減少にともない20億円減少
- **増収要因が減少要因を吸収 過去最高値を更新**

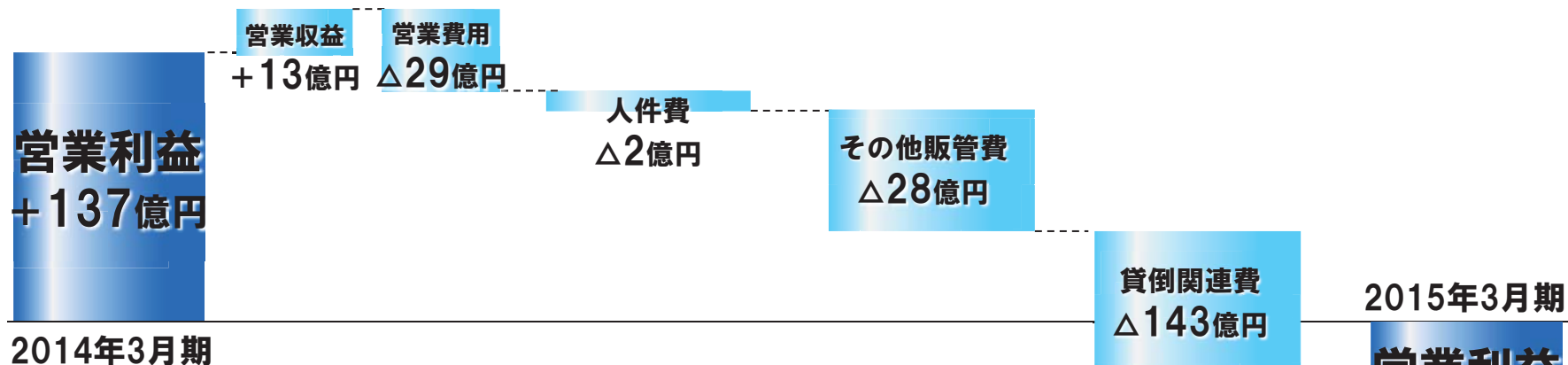
単位：億円



Point

➤ 営業利益は189億円の減益

- ✓ 営業費用：親愛貯蓄銀行の不良債権売却損13億円、日本介護福祉G等の売上原価15億円がそれぞれ増加し、29億円増加
- ✓ 貸倒費用：ケージェイアイ/ハイキャピタルの子会社化、親愛貯蓄銀行貸付残高の増加や不良債権の処理促進により143億円増加



営業費用の主な増減要因	
銀行業における営業費用	14
その他の営業費用	15
不動産売上原価	9
AM事業売上原価	-10

その他販管費の主な増減要因	
支払手数料	3
減価償却費 (KCカード)	4
広告宣伝費 (親愛貯蓄銀行)	14
減価償却費 (親愛貯蓄銀行)	3

貸倒関連費の主な増減要因	
貸倒費用	119
利息返還損失引当金 (KCカード)	24

Point

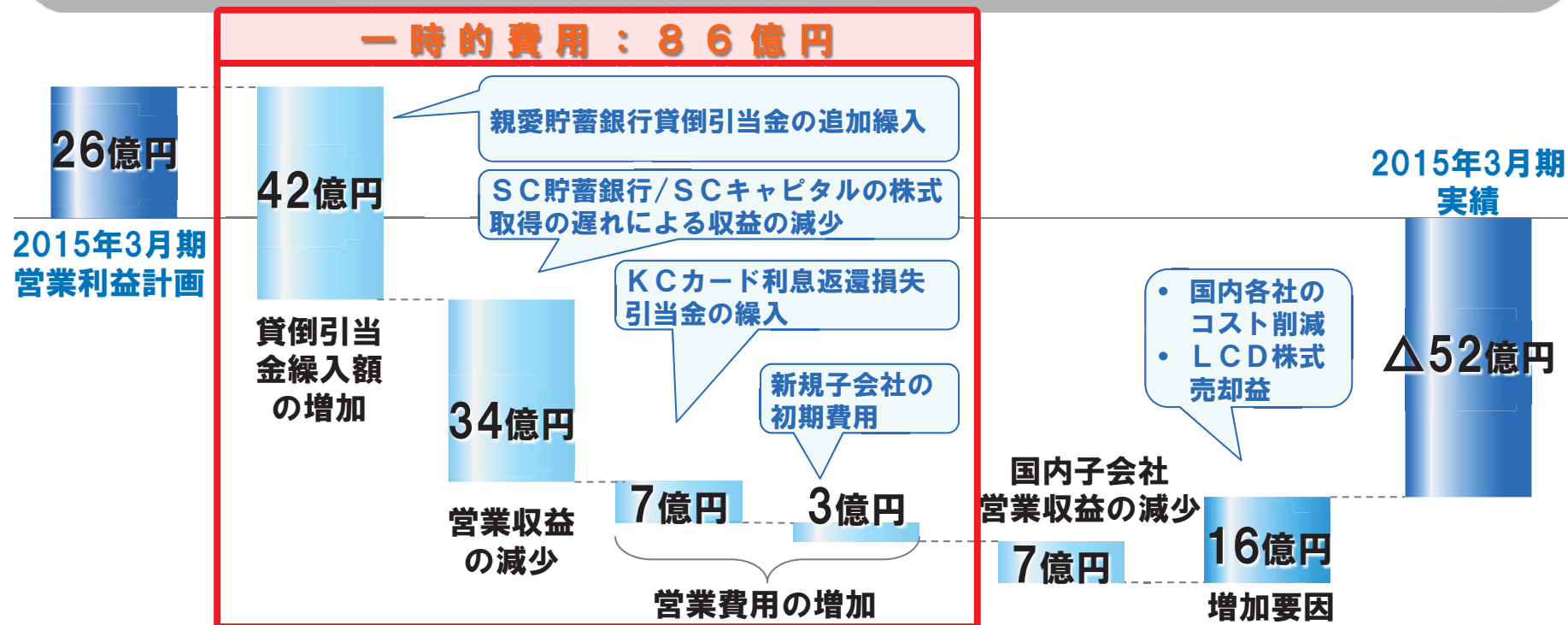
- **経常利益は156億円の減益**
 - ✓ 前期計上したライセンス時の株式交付費用が発生せず（+11億円）
 - ✓ 為替差益を計上（+28億円）
 - ✓ 営業利益が減少（△189億円）
- **当期純利益は10億円の減益**
 - ✓ 負ののれん発生益を特別利益に計上（+135億円）

単位：億円

	2014年3月期	2015年3月期	差異
営業利益	137	△52	△189
営業外収益	10	31	21
営業外費用	14	3	△11
経常利益	133	△23	△156
特別利益	19	154	135
特別損失	35	20	△15
法人税等	5	8	3
当期純利益	111	101	△10

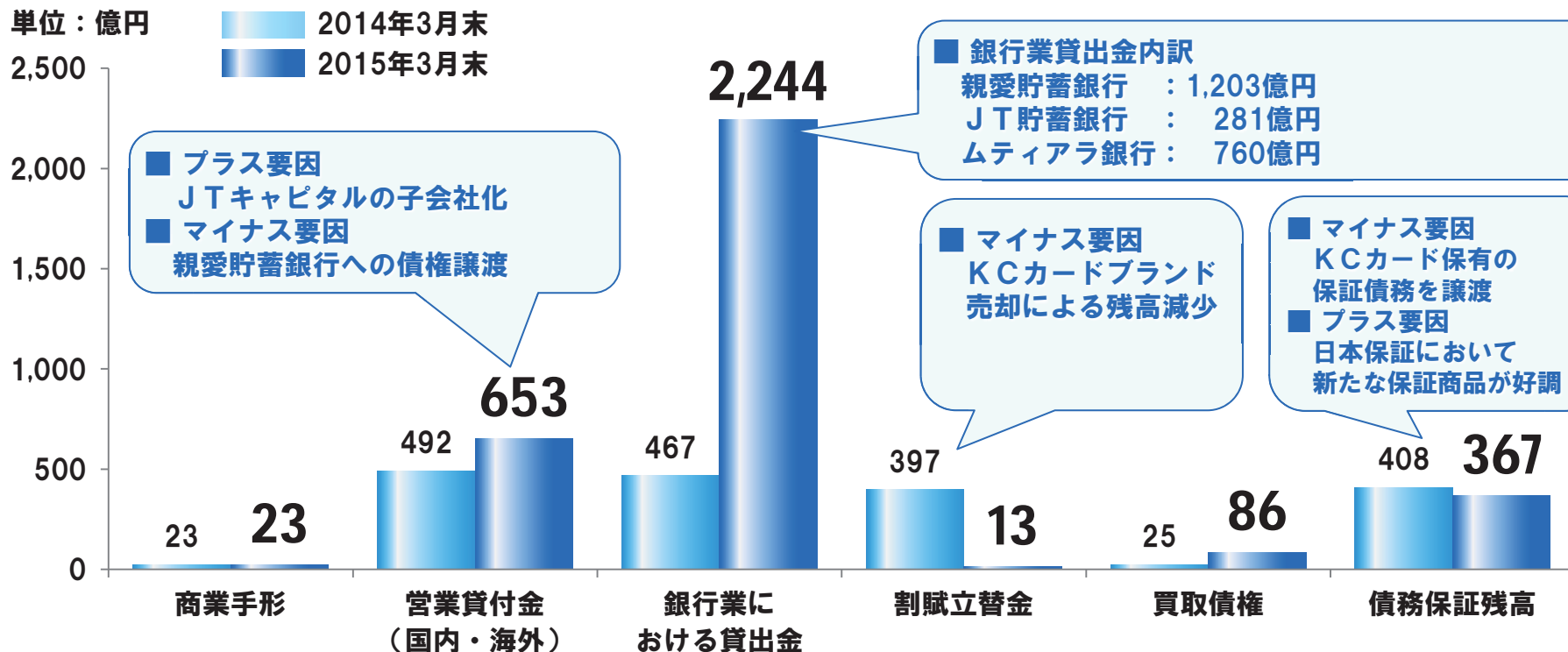
Point

- 一時的な費用として86億円を計上
 - ✓ 貸倒引当金繰入額の増加：親愛貯蓄銀行において積極的に不良債権処理を促進
 - ✓ 営業収益の減少：SC貯蓄銀行/SCキャピタルの株式取得の遅れによる収益の減少
 - ✓ 営業費用の増加：KCカードにおける利息返還損失引当金の繰入
新規子会社3社の初期費用が発生
- 一時的な費用を差し引けば、当期営業利益19億円



Point

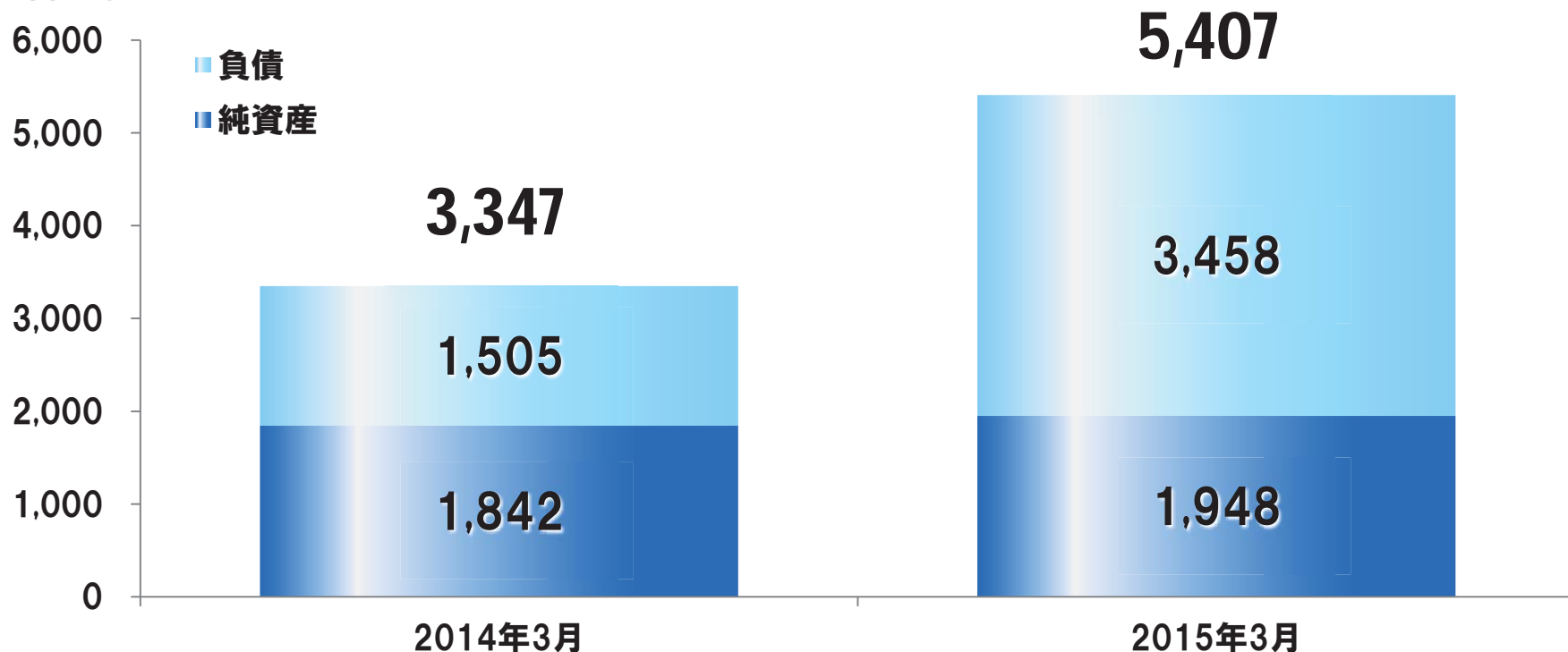
- 営業貸付金残高 : 前期比 161億円増加
- 銀行業における貸出金 : 前期比 1,777億円増加
- 割賦立替金残高 : 前期比 384億円減少
- 債務保証残高 : 前期比 41億円減少



Point

- 総資産は前期比2,060億円増加の5,407億円
- ライツ・オフリングで調達した資金にて積極的にM & Aや債権買取を実施し、資産が増加
- 今後、営業資産から安定した利益の計上を見込む

単位：億円



2016年3月期～2018年3月期 中期経営計画資料

Jトラスト株式会社

2015年5月26日